

閉 会 挨拶

日本政策金融公庫副総裁 皆川 博美

副総裁の皆川でございます。ひと言ご挨拶申し上げたいと思います。

本日ご登壇いただきました皆様から、さまざまなお話を頂戴しまして、私自身、多くのことを学ばせていただきました。

第1部では安田先生から、私どもの研究報告に対しまして貴重なコメントを頂戴いたしました。ありがとうございました。フリーランスなど小規模な起業者や、起業家に対する社会の評価と受け入れなど、今後の課題に対するご指摘は、大変示唆に富むものを感じられました。

また、第2部のパネルディスカッションでは、3社の経営者の皆様からお話をお伺いできました。「障害者の就労の場の確立」という強い決意のもと、資金調達や実習先の不足を乗り越えたすまいるの伊藤代表様。震災による準備不足の中でも、戦略につながる経営理念の重要性をご指摘されたSAVE TAKATAの佐々木代表様。失業者雇用に関する公的支援や、地元の学校との連携を深めて業容を拡大しておられるブリブサーの澁川社長様。それぞれの経営者の方から、開業の前後、各段階における課題を克服するための大きなヒントをいただいたように感じております。ディスカッションに参加いただいた皆様に、心から感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

私ども日本政策金融公庫総合研究所は、中小企業専門のシンクタンクとして、実際の企業との日常的な接触によるフィールドワークを基本に、高いレベルの研究水準を追求しております。その意味で、今回専門の先生、そして経営者の方々のご協力を得て、このようなシンポジウムで、広く皆様に成果を発信できましたことを大変喜ばしく思っております。改めて皆様のご協力にお礼申し上げたいと存じます。

最後になりますが、ご来場の皆様におかれましては、ご多忙の中お運びいただきまして、まことにありがとうございました。今後も引き続き日本政策金融公庫ならびに総合研究所に対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

